

企画提案型協働事業(令和元年度募集、令和2年度実施)
 関連課事前協議チェックシート

提案者名： こむnetちば
 提案事業名： 訪問傾聴ワーカー（見守り隊）限定地域派遣事業
 関連課等名： 高齢者福祉課
 班等名： 包括支援係
 担当者名： 谷川由里子
 内線等： 273

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

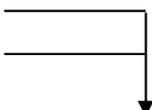
- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(具体的理由)

印西市第2次基本計画、第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第3次印西市地域福祉計画

(3)法令上の問題について

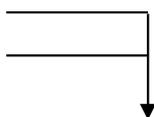
- 1 法令上、実施できない
 - 2 部分的に問題あり
 - 3 特に問題なし
- 

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(1または2の場合の具体的理由)

(4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



回答欄

2

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

介護支援ボランティア養成講座や生活支援サポーター養成講座などを実施している。

(5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

回答欄

2

(具体的理由)

(6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

回答欄

2

(具体的理由)

(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

回答欄

2

独居や高齢者世帯に訪問して話を傾聴することにより、高齢者の見守りをしたり関係機関につなぐことで有効な支援になると思われます。

(8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

回答欄

2

(具体的理由)

第三者委員会の必要性。

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

- ・事業を運営するための、安定した人員の確保。
- ・地域包括支援センターや民生委員等の関係機関(者)との連携をどのように行っていくか。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというとな取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

回答欄

2

(具体的理由)

包括支援センターの訪問ワーク業務において、訪問日と訪問日の間の期間のサポート等に有効かと考える。

企画提案型協働事業(令和元年度募集、令和2年度実施)
 関連課事前協議チェックシート

提案者名：NPO法人 谷田武西の原っぱと森の会

提案事業名：武西の里山 保全と調査事業

関連課等名：環境保全課

班等名：保全係

担当者名：黒田 学

内線等：365

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)
 印西市を代表するものの一つとして里山があり、自然環境や里山、動植物の保全については、市民の関心が高いと思われる。

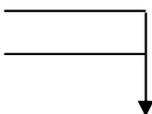
(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(具体的理由)
 印西市環境基本計画において、印西市が目指す将来環境像として「ひと まち 自然」が調和し、豊かで安心できる環境で暮らせるまちいんざいを掲げ、緑や水辺を守り育てることなどを目標としている。

(3)法令上の問題について

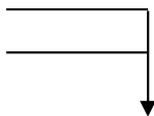
- 1 法令上、実施できない
 - 2 部分的に問題あり
 - 3 特に問題なし
- 

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(1または2の場合の具体的理由)

(4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

(5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

武西の里山の保全については、よりよい環境を維持するための草刈を行い、現地の樹木、草花、生物、水質等の状況を調査することで、懸念される課題解決を行い良好な里山環境を保つことができる。また、貴重な動植物が確認されていることから、具体的な保全に向けた検討材料となる。

(6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

長年にわたる保全活動から計画的に保全活動を行っている。

(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(具体的理由)

今後は市民が自然への関心を高めるための場所となるための整備を検討していく必要があるため、引き続き保全を行っていく。

(8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

| |
|-----|
| 回答欄 |
|-----|

| |
|---|
| 1 |
|---|

(具体的理由)

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

里山の自然や動植物を保全していくための途中であり、今後は調査した結果をどのように活用していくかの検討を進めていかなければならない。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

| |
|-----|
| 回答欄 |
|-----|

| |
|---|
| 1 |
|---|

(具体的理由)

何度も里山に入らせていただき調査を行うことで、積み上げて得た保全の方法と、具体的な環境の把握は、今後市が管理保全していく上で参考になると考える。

企画提案型協働事業(令和元年度募集、令和2年度実施)
 関連課事前協議チェックシート

提案者名：NPO法人 里地里山保全ねっと

提案事業名：イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業

関連課等名： 環境保全 課

班等名：鳥獣被害対策係

担当者名：齊藤忠明

内線等：367

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

身近な自然環境として存在していた里山も、維持管理が行われなく衰退していくなか、市民と行政が協働で里山保全を行っていくことについてはある程度のニーズがあると考えられるが、イノシシによる被害や出没している地域とそれ以外の地域において市民のイノシシに対する意識に違いがある。
 また、各個人の所有地は所有者が管理する原則から考えたときに疑問が残る部分がある。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(具体的理由)

提案主旨は里山保全及び鳥獣被害対策と捉えられるが、鳥獣被害対策については、国・県事業により実施していることから整合を図る必要がある。

(3)法令上の問題について

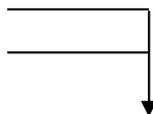
- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- 3 特に問題なし

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(1または2の場合の具体的理由)

(4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

刈り払いについては、イノシシ棲み家撲滅特別対策事業(県単)、また鳥獣被害対策についてはイノシシ駆除業務等を実施している。

(5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

荒廃農地等の刈り払いについては一定の効果が認められる。しかし、調査に関する団体の専門性が不透明であるため、イノシシの発生抑制及び出没調査については、効果の定量化が困難と考えられる。

(6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(具体的理由)

刈り払いによる里山保全については、これまでの実績より勘案して作業自体の具体性・実行性は高いと考えられる。

(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

本提案初年度に事業決定した後、イノシシ棲み家撲滅対策特別事業(県単)が新設されたため、結果として類似する事業が並立している状態であるため、最終的な事業計画を立案する前に詳細の検討を要すると考えられる。

なお、捕獲においては捕獲許可(県許可)が必要であり、かつ現在イノシシの捕獲は委託事業で実施しているため検討を要する。

(8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

回答欄

-

(具体的理由)

今回の提案書において予算等が添付されていないため判断ができない。

(しかし、これまでの刈り払いについての事業実績から判断するとすれば根拠及び妥当性は高いと考えられる。ただし、類似するイノシシ棲み家撲滅対策特別事業との単価の調整が必要である。)

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

・団体の提案する目的と沿わない部分はあるが、実施内容が類似するイノシシ棲み家撲滅対策特別事業(県単)を実施しているため、刈り払いについて単価の整合を求めざるを得ないと考えられる。
・イノシシの調査及び報告について、調査方法及び定量化の基準が明示されていない。
・捕獲については、狩猟免許及び捕獲許可等許認可が必要なため必要に応じ調整及び手続を要する。また、現行のイノシシ駆除業務との調整を有する。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

回答欄

2

・類似及び重複する事業を実施しており、かつ協働が困難な事業についての提案があるため、事業目的や手法・事業費等について協議を行う必要があると考えられる。

企画提案型協働事業(令和元年度募集、令和2年度実施)
 関連課事前協議チェックシート

提案者名： 印西防災研究会 会長 向井地 純一

提案事業名： 自主防災組織の活性化事業

関連課等名： 防災 課

班 等 名： 防災係

担当者名： 渡邊 真央

内 線 等： 454

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 1 |

(具体的理由)

防災についての市民の関心は高まっているが、細かなところまで防災課のみでは行き届かないところがある。また、災害時は、住民同士の共助の力が重要であり、地域での防災対策を進める必要がある。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

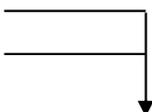
- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(具体的理由)

防災について市民団体として積極的な取り組みを行っているが、市の取り組みや方向性に合致していない部分がある。お互いの取り組みについて理解し、協議を要する。

(3)法令上の問題について

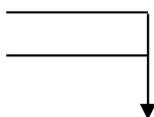
- 1 法令上、実施できない
 - 2 部分的に問題あり
 - 3 特に問題なし
- 

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(1または2の場合の具体的理由)

(4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



| |
|-----|
| 回答欄 |
| 3 |

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

(5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

自主防災会は町内会や地域などに置かれる任意の活動団体であり、現在95団体結成されている。印西防災研究会が各自主防災会の活動に係わることで、きめ細かな訓練の実施、危機意識や活動の変化、自主防災組織全体のスキル向上が期待できる。

(6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

継続提案として3年目の実施であり、マニュアルの作成や自主防災会リーダー研修会などで講義を実施している。
自主防災会への働きかけ方も具体的に提案されている。

(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

| |
|-----|
| 回答欄 |
| 2 |

(具体的理由)

提案内容として挙げられている自主防災組織地区連絡会・全体連合会の結成については、防災課で推進しているものではない。また、自主防災会組織未設置の地区への取り組みとして、結成率向上のみでなく、住民の危機意識を高めて結成を促す活動として取り組む方が、施策に合致している。提案内容については、協議の必要がある。

(8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

回答欄

2

(具体的理由)

前年度提案時からの改善が見られ、人件費についても具体的に時間と人数を計上している。

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

印西防災研究会の提案内容のなかに、防災課では取り組む予定のない自主防災組織地区連絡会・全体連合会結成の提案、自主防災会組織率向上のため、取り組んでいただきたい内容などに合致していない部分がある。

3年目の取り組みの年となるので、協議を重ねて効果のある協働事業となるよう準備を進めたい。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

回答欄

1

(具体的理由)

防災は市民ニーズも高く、災害時は地域住民の共助の力が必要となる。市民自らが、災害対策に積極的に取り組んでいく地域を作っていくために、市民団体でもある印西防災研究会と課題に取り組みたい。